

会 告

[ゴシック体は本会主催]

開催日	催物ご案内():開催地	参加費 (テキスト代)	申込締切 期日等	掲載号
10月10日(金)	セミナー「脱炭素社会を見据えた最新の膜分離技術—講演&事業所見学会—」(大津)	—	9月26日 30名	第83巻9号
14~15日(火~水)	光化学講座シリーズ2025 光化学基礎講座27(WEB)	—	—	第83巻8号
17日(火)	来日学者講演会(岡山)	無料	—	本号
28日(火)	セミナー「代替肉とアップサイクルから食の「さすてなぶる」を考える」(泉佐野)	—	10月10日 30名	第83巻9号
30日(木)	若手研究者のための有機化学札幌セミナー(札幌)	無料	—	本号
11月1~4日(土~火)	第69回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会(TEAC2025)(徳島)	—	—	第83巻6号
6~7日(木~金)	ナノ材料の総合分析講習(大阪)	—	10月15日	第83巻8号
6~7日(木~金)	第127回有機合成シンポジウム(東京)	—	—	第83巻7号
7~10日(金~月)	第12回アジアシクロデキストリン国際会議・第41回シクロデキストリンシンポジウム(京都)	—	—	第83巻8号
8日(土)	第8回 Tishler-Ōmura 講演会(東京)	無料	10月20日	本号
8~9日(土~日)	第56回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(岐阜)	—	—	第83巻7号
13~14日(木~金)	第48回フッ素化学討論会(豊橋)	—	—	第83巻9号
14日(金)	日本希土類学会第43回講演会(横浜)	—	10月17日	第83巻9号
21日(金)	ミニシンポジウム千葉2025(千葉)	無料	—	本号
28日(金)	第9回天然物化学研究会(東京)	—	—	本号
28日(金)	ハロゲンシンポジウム —キックオフシンポジウム—(松山・WEB)	無料	10月31日	第83巻9号
28日(金)	2025 ハロゲン利用ミニシンポジウム —第17回臭素化学懇話会年会在松山—(松山)	—	—	第83巻9号
29~30日(土~日)	第89回有機合成化学協会関東支部シンポジウム —新津シンポジウム—(新潟)	—	—	第83巻9号
2026年 1月15~16日(木~金)	超分子化学と機能性材料に関する国際シンポジウム(CEMSupra 2026)(東京)	無料	—	本号

本誌会告への掲載について 本誌会告欄では、本会の本部・支部が主催または共催する催しものについては必要な範囲で全文を掲載いたします。他学協会等の主催するもので、本会が協賛の催しものは一部の内容のみの掲載とさせていただきます。協会HPにも掲載しております。原稿締切は掲載号の前々月25日(12月号は10月24日)厳守です。なお、開催の可否等、詳細は主催団体のHPをご覧ください。

来日学者講演会

主催 有機合成化学協会中国四国支部

日 時：10月17日(火)16:00~18:00

会 場：岡山大学工学部1号館 第1講義室(岡山市北区津島中3-1-1)

講 師：Dr. Sukalyan Bhadra(CSIR-Central Salt and Marine Chemicals Research Institute, India)

演 題：Catalytic Transformations via SET-Induced Formation of C-Centered and N-Centered Radicals

参加費：無料

連絡先：700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学学術
研究院環境生命自然科学学域 坂倉彰(TEL 086-251-8215,
e-mail: sakakura@okayama-u.ac.jp)

若手研究者のための有機化学札幌セミナー

主催 有機合成化学協会北海道支部
共催 有機合成化学協会

日 時：10月30日(木)
会 場：北海道大学総合イノベーション創発機構 大会議室
講 演 者：道内の若手研究者4名，外部からの講師1名を予定
参 加 費：無料 ※参加希望の方は下記のメールアドレスにご
連絡ください。
問 合 先：001-0021 北海道札幌市北区北21条西10丁目 有
機合成化学協会北海道支部 事務局 浅野圭佑(TEL 011-
706-9151, e-mail: asano@cat.hokudai.ac.jp/)

第8回 Tishler-Ōmura 講演会 大村智博士ノーベル賞受賞10周年記念 北里柴三郎先生 診察発行1周年

主催 北里大学大村智記念研究所
協賛 有機合成化学協会ほか

日 時：11月8日(土)13:00~16:30
会 場：白金キャンパス 北里大学薬学部大村記念ホール
(東京都港区白金5-9-1)
講 演：
1. A new paradigm for self-resistance in antibiotic-producing bacteria(Monash Warwick Alliance Professor of Sustainable Chemistry Department of Chemistry, University of Warwick)Prof. Gregory L. Challis
2. Kitasato Institute's challenge in Ghana: Building a co-creation-based schistosomiasis control package(Kitasato University, Japan)Prof. Naotoshi Tsuji
3. Bats as reservoirs of viral zoonoses: how Egyptian fruit bats combat Marburg virus infection(Robert Koch-Institute, Germany)Prof. Joseph Prescott
4. Strategy for malaria elimination(Japan Institute for Health Security(JIHS), Japan)Prof. Shigeyuki Kano

参加費：無料
申込方法：10月20日(月)までに下記 Google フォームからお申し込みください。
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfJ_GjxmfGhkafVvxg8zi68y0s4nbwXXPne40-ZHHPQ3Tm8LA/viewform
連絡先・問合先：108-8641 東京都港区白金5-9-1 北里大学大村智記念研究所内 第8回 Tishler-Ōmura 講演会事務局 (FAX 03-5791-6335, e-mail: tosymp@kitasato-u.ac.jp, URL <https://www.kitasato-u.ac.jp/lisci/news/TOsymp2025.html>)

ミニシンポジウム千葉 2025

主催 有機合成化学協会関東支部

日 時：11月21日(金)13:30~16:50
会 場：千葉大学工学・情報学系講義棟イノベーションシアター(西千葉キャンパス, http://www.chiba-u.ac.jp/campus_map/)

プログラム：

1. 富士フィルムにおけるペプチド創薬の支援プラットフォーム開発(富士フィルム株式会社有機合成化学研究所)田村崇
2. 天然物から学ぶ～全合成からわかること～(筑波大学数理工学系化学域)吉田将人
3. ラジカル化学を基盤とした自己修復性および力学応答性ポリマーの設計(東京科学大学物質理工学院)大塚幸

参加費：無料

参加申込方法：直接会場にお越し下さい。

連絡先：千葉大学大学院工学研究院 三野孝(TEL & FAX 043-290-3385, e-mail: tmino@faculty.chiba-u.jp)

第9回天然物化学研究会 一分野融合が切り拓く天然物化学の新展開

主催 天然物化学研究会
共催 日本農芸化学会関東支部

日 時：11月28日(金)13:00~
会 場：東京農業大学世田谷キャンパス横井講堂

プログラム

1. フィールドワークからはじめる海洋天然物化学(中央大学理工学部)岩崎有紘
2. 多様なアプローチで切り拓く天然物合成研究(立教大学理学部)大多和正樹
3. 糸状菌天然物の生合成における特異な修飾酵素群の解析(東北大学大学院薬学研究科)尾崎太郎

参加費：シンポジウムへの参加は無料，参加申し込みも必要ありません。意見交換会は，一般2000円，学生1000円。詳細はHP(<https://www.nodai.ac.jp/chemistry/original/natural/>)をご覧ください。

問 合 先：305-8572 つくば市天王台1-1-1 筑波大学生命環境系 宮前友策(e-mail: miyamae.yusaku.fw@u.tsukuba.ac.jp)

超分子化学と機能性材料に関する 国際シンポジウム(CEMSupra 2026)

主催 理化学研究所創発物性科学研究センター
協賛 有機合成化学協会ほか

日 時：2026年1月15日(木)~16日(金)
会 場：東京大学本郷キャンパス伊藤国際学術研究センター
招待講演：Stephen Z. D. Cheng(The University of Akron),

William Dichtel(Northwestern University), Andrew Goodwin(University of Oxford), Maksym Kovalenko(ETH Zurich), Christine Luscombe(Okinawa Institute of Science and Technology), Thuc-Quyen Nguyen(University of California, Santa Barbara), Matthew J. Rosseinsky(University of Liverpool), Christoph Weder(The University of Fribourg), Tanja Weil(Max Planck Institute for Polymer Research), Shiki Yagai(Chiba University), Yadong Yin(University of California, Riverside)

参加費：無料

申込方法：参加申込(12月19日まで)はHPから(<http://cemsupra.jp/>, 9月初旬公開予定)

連絡先：和光市広沢2-1 理化学研究所創発機能高分子研究
チーム内 CEMSupra2026 事務局(TEL 050-3500-7176, e-
mail: cemsupra2026@ml.riken.jp)

* * *

公益財団法人長瀬科学技術振興財団
2026年度 研究助成募集(長瀬研究振興賞)

1. 研究助成対象：有機化学[材料化学を含む]及び生化学，並びに関連分野において申請者が主体的に進める研究
2. 助成対象期間：2026年4月から2027年3月末まで
3. 助成金及び賞：助成者には，長瀬研究振興賞並びに助成金が授与されます。(1件300万円25件程度)
※応募者が所属する機関の間接経費，一般管理費(オーバーヘッド)は，助成の対象になりません。
4. 応募期間：2025年9月1日より2025年11月1日まで(期限厳守)
5. 応募方法：当財団ホームページ(<https://www.nagase-for.jp/>)の「助成金事業」にある，「WEB応募」ページから応募してください。